

国際理解コースQ&A

愛知県立中村高等学校 2025年度入学生用

【コースのねらいと授業について】

Q コース設置のねらいは何ですか。

A 異なる文化を持つ人々について理解し、尊重し合いながら協働し、国際社会の中でともに問題解決を目指す人材を育成することです。これまで本校で行ってきた「国際理解教育」の実績をふまえ、独自の授業・行事を設けるなどカリキュラムを充実させました。



Q 国際理解コースではどんな勉強をするのですか。

A 国際理解コースは、英語・地歴公民・国語などの授業が多い「文系」のコースです。さらにコース独自の科目として、ベトナム研修旅行など体験学習を核とした「グローバルスタディーズ」、世界の文化と対比しながら日本文化を学ぶ「日本文化研究」、他国の文化を広く学び、国際社会における関わり方を学ぶ「多文化共生」、国際社会で必要とされる発信力を育成し、実践的な英語力を鍛える「グローバル英語ⅠⅡⅢ」があります。さらに、世界の成り立ちから現代国際社会の理解を深めるために、2年次以降は「世界史探究」を必修とします。



Q 卒業後の進路について教えてください。また、このコースから理系の大学に進学できますか。

A 国際理解コースは外国語、国際文化、文学、経済、法学などの文系学部への進学に対応した、国公立および私立大学入試に対応した教育課程となっています。工学部、理学部、農学部、医学部などの理系学部への進学を希望する場合は、「普通コース」が適しています。

Q 国際理解コースの英語の授業について教えてください。英語が得意でないとだめですか。

A 「普通コース」の授業と比べて、ALT(外国語指導助手の先生)を積極的に活用した授業がより多く設定されているのが国際理解コースの特徴です。まずは基本的なことから学びますので、最初のうちはあまり得意でなくても授業についていけるかと思います。ただし、学年が上がるにつれて授業内容が発展的なものになっていきますので、英語への興味関心を持ち学習に積極的に取り組むことが求められます。

Q 英語の外部試験への対応はできますか。

A 国際理解コースの目標の一つとして、卒業までに英検2級以上を取得することを掲げています。国際理解コースの生徒は、グローバル英語の授業を通して実践的な英語力を養っているため、英検を含めた外部試験への対策にも向いています。さらに本校では、英検対策の補習を定期的に関講しています。



Q 国際理解コースの生徒は3年間同じクラスですか。

A コースの人数や授業の展開などの事情で複数のクラスに分けることもあります。なお、現在1・2年生は単独クラス、3年生は、普通コースの生徒との混合クラスとなっています。



【国際理解コース独自の行事について】

Q 国際理解コースではどんな行事が行われますか。

A 国際理解コースの核となる行事は、1年次のベトナム研修と、2年次の Global Studies Program(学校で実施する3日間の英語集中学習プログラム)です。また、1年次に国際理解への関心を深めるため、JICA中部への訪問プログラムや、大学教授からの出前授業なども行っています。それらの事前事後の学習は、「グローバルスタディーズ」や「総合的な探究の時間」等の授業内で行っており、体験を通して深い学びを得ることが出来ます。さらに、希望をする生徒は普通コースも含めて対象とするオーストラリア姉妹校生徒派遣に応募することも可能です。



Q ベトナム研修の内容と必要な費用を教えてください。

A ベトナム研修では、1年次の冬季休業中に5日間の日程でベトナムのホーチミンを訪れます。現地の学生との交流、日系企業訪問、平和学習などが計画されています。ベトナムには日本の企業が多数進出しており、大勢の日本人が働いています。現地の日系企業の話聞いて、海外で働く将来の自分の姿をイメージする機会にもなります。原則として、国際理解コース全員が参加する行事です(普通コースの生徒は参加できません)。費用は22万円ほどの見込みです。

Q 高大連携(南山大学による出前授業)について教えてください。

A 令和元年度より、南山大学から教授をお招きして、ベトナムや国際理解についての授業を行っています。実際の大学の講義を体感し、国際理解について見識を深める貴重な機会です。

Q Global Studies Program について詳しい内容と、必要な費用を教えてください。

A 国際理解コースの2年生が参加する、3日間校内で行う英語集中学習プログラムです。生徒数名に留学生1名がグループリーダーとしてつき、テーマに沿ってディスカッションやプレゼンテーションを行います。英語でのコミュニケーション能力が向上するのはもちろん、発信力、リーダーシップなども身につくプログラムです。ファシリテーターと呼ばれる指導経験が豊富なネイティブ・スピーカーの先生と共に、様々なことを英語で話します。費用は4万円ほどです。



Q JICA中部への訪問について教えてください。

A 1年次にJICA中部(名古屋市中村区)を訪問し、国際理解について学習します。JICA職員やJICA海外協力隊員経験者による、国際協力などをテーマにした講義を聞いたり、体験ゾーンで世界の諸問題について学んだりすることができます。



Q 国際理解コースの生徒も部活動はできますか。

A 部活動、生徒会活動ともに普通コースと同様に参加できます。ただし、1年生冬休みのベトナム研修旅行、2年生3月のGlobal Studies Programとその事前・事後指導、1年生の火曜7限「グローバルスタディーズ」の授業は必修であるため、部活動よりも優先して出席をしなければなりません。



Q 国際理解コースの修学旅行はどこに行きますか。

A 普通コースの生徒と同一です。令和6年度は広島方面へ行きました。

【普通コースと共通の国際理解に関する行事について】

Q オーストラリア姉妹校生徒派遣について教えてください。

A オーストラリア・ビクトリア州にある Mentone Girls' Secondary College との間で生徒約20名が隔年で相互訪問し交流を深める事業です。令和6年度は7月22日(月)から8月4日(日)まで、本校生徒18名が姉妹校生徒の家庭にホームステイをしながら授業に参加しました。令和7年度は、姉妹校の生徒が、本校生徒の家にホームステイをして授業に参加する予定です。この派遣事業に参加した生徒は、伝えたい事を表す英単語が分からなくても、外国人に対して臆することなく動作や別の表現を用いて伝えようとする積極性が養われるとともに、プレゼンテーション能力や英語の運用能力が確実に高まります。国際理解コースのみでなく普通コースの生徒も参加できますので、希望者が多い場合は選考により参加者を決定します。参加する場合には、費用は30万円ほど必要です。



Q 中村地球市民教室とはどんな行事ですか。

A 他国の文化に興味関心を抱き、文化の多様性に気付くと同時に日本文化を別の視点から理解することを目的として、1・2年生全員を対象に実施している講座です。内容は、名古屋国際センターの交流協力課が主催する「NIC地球市民教室」プログラムを通して、名古屋近郊に在住している外国人(英語圏以外が多い)を講師として各クラスにお招きし、講師自身に出身国の生活や文化をプレゼンテーション形式で紹介してもらい、異文化体験活動をワークショップ形式で実施しています。3月に授業時間を使って実施します。



【入試選抜関係について】

Q 定員は何人ですか。

A 国際理解コースの定員は40名です。

Q 国際理解コースは普通コースより入るのが難しいですか。

A どちらのコースを選んでも本校への合否には影響しません。合格者の中で希望のある人が国際理解コースに入ることになります。

Q 希望者が40名に達しない場合でも国際理解コースは開設しますか。

A 開設します。

Q 合格者の中で希望者が40名を越えた場合はどうしますか。

A 入学者選抜時の成績等を参考にして、40名を選抜します。

Q どうやって国際理解コースを選択しますか。

A 本校 Web ページの案内にしたがって、コース選択希望を入力してください。

Q 国際理解コース・普通コースのどちらになったかは、どの時点でわかりますか。

A 3月中旬、コース選択希望のフォームで入力されたメールアドレス宛に、メールで通知します。

Q 在学中に、国際理解コースから普通コースに変更は出来ますか。

A 普通コースへの変更は出来ません。

2025年度入学生の3年間の行事のイメージ

1年次

4月	5月	6月	8月	9月	10・11月	12月	1月	2月・3月
オリエンテーション	JICA 訪問	-	学校説明会 (コース紹介のプレゼン)	高大連携	-	ベトナム 研修	-	中村地球市民教室

1年次は、行事や事前学習の為に、「グローバルスタディーズ」の授業が週1単位(火曜7限)開設されます。

2年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11・12月	1月	2月・3月
-	-	-	-	オーストラリア姉妹校派遣 (希望者のみ)	-	修学旅行	-	-	中村地球市民教室 Global Studies Program

4～7月の総合の授業において、「国際理解・国際協力のための主張コンクール」応募に向けた準備を行います。
9月以降は、3年次「探究学習」に向けた準備(IUCプロジェクト)を進めていきます。

3年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
探究学習の準備・まとめ				-	IUCプロジェクト成果発表 (学校祭にて)	卒業文集の作成			-	-	-

IUCプロジェクト成果の発表・「多文化共生」「日本文化研究」の授業の中での学び・大学入試への準備が主な内容です。

1・2年次で行事にかかる費用について(概算)

2025年度入学生(現在の中学3年生)

年度	学年	ベトナム 研修	Global Studies Program	合計金額	オーストラリア 派遣 ※1
2025	1年次	220,000 円	-	220,000 円	(300,000 円)
2026	2年次		40,000 円	40,000 円	

計 260,000 円

※1 オーストラリア研修への参加は希望制(希望者多数の場合は選考あり)で、隔年実施です。
令和7年度は姉妹校からの生徒を受け入れ、令和8年度は姉妹校へ訪問します。